



令和7年3月1日現在  
総世帯数 1,959世帯  
総人口 3,756人  
総男女 1,811人  
1,945人

1月28日(火)に、田川公民館でたがわばんどAUBEによる新春コンサートが行われました。昨年同様に、年明け初回のいきいきサロンに合わせての開催です。

当日は多くの観客でにぎわい、たくさんの方がこの日を楽しみにしていたことが分かります。AUBEによるユーモアでいっぱいの寸劇と演出に、参加者の笑顔が絶えませんでした。もちろん、心地よい音楽にも癒され、皆さん楽しいひと時を過ごしていました。

今年はいきいきサロンのメンバーもAUBEの寸劇に加わりました。メイド(冥土)喫茶のメイドさんとなつたサロンメンバーの登場に会場はいつそう盛り上りました。

楽しい演出を考えるAUBEの発想力には毎度驚かされます。メンバーの大沢さんと相澤さんは「メンバーの得意なことを活かし、自分たちも楽しむことを大切にしている」と話します。こうしたメンバー自身の楽しむ気持ちが、見る人を引きつけ楽しませる演出につながっているということになるほどと納得です。

田川公民館では1月22日(水)に田川小学校の1年生とやしうま作り交流会を行いました。学校と地域のつながりを目指している「田川つ子応援団」の活動の一つです。前日にやしううまの作り方を練習した地域のお手伝いの人に対しても丁寧な指導とサポートをしてくれました。児童たちは生地を伸ばす作業に、なるほどと納得です。

え、メンバーの宮尾さんに感謝を伺ったところ「無茶ぶりにも関わらず、サロン三人衆の噂にたがわぬ役者ぶりに笑いの輪が広がりました。共に楽しいひと時を過ごせたことを感謝しています」とコメントを寄せていただきました。

AUBEの皆さん、今年も素敵なお花になつてる!と喜んでいた。いきいきサロンでは、こうした楽しめる催しを毎月行っています。ぜひ気軽に足を運び、地域の中での交流を深めていきましょう。

## 田川小1年生と やしううま作り



田川小1年生とやしううま作り交流会を行いました。学校と地域のつながりを目指している「田川つ子応援団」の活動の一つです。前日にやしううまの作り方を練習した地域のお手伝いの人に対しても丁寧な指導とサポートをしてくれました。児童たちは生地を伸ばす作業に、なるほどと納得です。

これからも学校と地域のつながりを大切にして交流を深めたいと思います。田川小1年生、ありがとうございます。地域の方々、おつかれさまでした。田川小CSコーディネーター 萩原しほみ

苦戦していましたが、全てが一生懸命でした。

「糸で生地が切れるなんてすごいね!」と驚いたり、切つた断面を見て「わあ!きれいなお花になつてる!」と喜んだりする児童の声があちらこちらから聞こえました。

児童たちの頑張りによって、お花模様とお祝迦様の耳の形のや

しょうまを作ることができました。試食タイムでは「おいしいね」と大歓声でした。児童たちのキラキラ輝く目が印象的でした。

## 田川地区 ウォーキングラリー

2月23日(日)凍晴れのもと、第25回田川地区ウォーキングラリーが開催されました。

今年も例年どおり田川公民館からスタートし、Mウイング→蔵シック館→松本城太鼓門→西堀公園と4つのチェックポイントを周る、約5kmのコースを歩きました。

朝は-9.1℃であった気温も、ゴールする頃には4℃ほどになり、ほんのり汗をかきながらウォーキングを楽しむことができました。



1月17日(金)、町内公民館長会が企画した「脳トレ」の研修会が田川公民館で行われました。スポーツクラブネサンス松本の指導員を講師に、脳トレプログラムを体験しました。頭を使いながら同時に体を動かすことで、脳が適度に刺激され、脳の機能を元気に保てるとのことです。

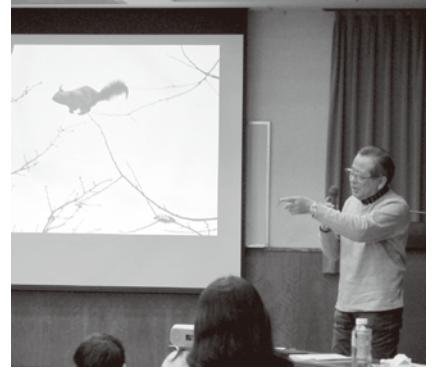
この日は、手拍子をしながら1から10までの数字を数えたり、足踏みをしながら指示に従つて前後左右に足を踏み出したりするなどのプログラムに挑戦しました。徐々に難易度を上げながら行い、参加者は頭で考えることと体の動きがこんながらがりながらも和らかに楽しんでいる様子でした。



## 脳トレで 認知力の向上

2月1日(土)の田川公民館では「写真で見る小さな生き物たち」と題した講演会が行われていました。田川地区まちづくり協議会の自然環境検討部会(部会長・横山裕己さん)が企画した事業です。

講師を務めたのは、市内在住の柴田直明さんです。動物写真愛好家として、生き物の写真を個展やグループ展で公開するなどの活動をしています。この日は数ある写真の中から、選りすぐりの数点が、



## 公民館で 講演会を開催

生き物の特徴などと合わせて紹介されました。昆虫や鳥にまちづくり協議会の自然環境検討部会(部会長・横山裕己さん)が企画した事業です。

柴田さんは生き物の精巧な体の構造や体の色、模様などに魅力があると話し、「今後人間の都合だけで自然環境を大規模に破壊することがないよう、環境全体のバランスに目を向けることが大切です」とメッセージを送っていました。

だんだんと暖かくなるこの時期、皆さんもふと足を止めて生き物を眺めてみては。

も小さな生き物たちが一生懸命に生きている姿を1枚でも多く撮り、皆さんに伝えたい」と意気込みを語りました。また、多様な生き物の共生を図るために「それぞれの動植物に適した自然環境が必要です。人間の都合だけで自然環境を大規模に破壊することはないよう、環境全体のバランスに目を向けることが大切です」とメッセージを送っていました。

## 田川百景 シリーズ～田川地区の架け橋～

①穴田川橋 → 渚3丁目の交差点と渚橋の間を流れる穴田川にかかる、その名も「穴田川橋」



そのまんまの名前と思いきや、親柱に明記された味のある文字に魅せられました。昭和35年に造られた橋は、今年の5月で65年が経ちます。「三十」が「卅」。川の字の右線が長いところも面白い。

【館報編集委員 宮城】



帰る頃には皆さんきっと頭が冴え冴えとしていたことでしょう。